

「G空間シティ構築事業地域報告会（九州）」を開催しました

九州総合通信局（局長：上原 仁）は平成27年2月26日（木）、「G空間シティ構築事業地域報告会（九州）」を、福岡朝日ビル（福岡市）で開催し、87名の参加がありました。

この報告会は、総務省の平成25年度補正予算「G空間シティ構築事業」で採択された九州・沖縄の3事業（福岡県北九州市、熊本県人吉市、沖縄県久米島町）の実証状況を地域の皆様へ報告するとともに、関係者等との意見交換を通じて、本事業の成果を他地域へ普及展開することを目的として開催しました。

【基調講演】

東京大学空間情報科学研究センター教授柴崎亮介氏が「G空間情報に関する最新動向の紹介」と題し、リアルタイムなG空間データを最適化して地図等に表すことにより災害等さまざまな用途に役立てる事ができるとして、通信衛星からの画像を交え、分かりやすく説明されました。

【成果発表】

北九州市の「災害時の電力確保まで想定した世界最先端のG空間防災モデルの構築」について、災害時の各種情報収集用アプリ、電気自動車を「動く蓄電池」に見立てたICT機器等への電力供給等に関する実証報告がありました。

人吉市の「G空間技術を活用した地域連携型防災まちづくり事業」について、防災情報収集システムを使用し多数の市民も参加した防災訓練の結果が報告され、参加者からのアンケート結果も踏まえ今後の課題等の検証が報告されました。

久米島町の「沖縄離島G空間シティ構築事業」について、離島におけるカーナビの精度向上と準天頂衛星のメッセージ機能についての実証報告がありました。

【意見交換】

柴崎氏及び3事業の関係者6名による意見交換が行われ、会場からの意見・質問も交え、他地域へ普及展開するに当たっての必要なデータ、運営資金等の課題について議論されました。



お問い合わせ先：情報通信振興課(096-326-7825)